

# 令和5年度 学力向上に係る効果的な取組事例

## 「個別最適な学びの充実に向けて」 加須市教育委員会

### 「個別最適な学び」を目指した取組事例

#### 事例1 個の理解度に応じた授業形態の工夫

○教科名 算数

○身に付けたい力 自力解決する意欲、柔軟的な思考、知識の定着

○個別最適な学びへ向けた工夫 児童の理解度に応じて少人数指導体制を構築した。

加須小学校 算数 授業スタイル【ベーシック】	
目標	具体的な学習活動例（※児童の活動）
基礎	1 算数の確認 前時の振り返り ・これまでの学習を振り返る。・分かっていることを確認しよう。
	2 問題の把握（どんな問題か、誰かめよう） ・わかっていること、聞いていることをしっかりと確認しよう。 3 考えの予想（考えを予想しよう） ・考えを予想し、聞き手の反応も見る。 4 問題解決に必要な条件の整理（今日の課題またはめあてを書こう） ・本時の問題から条件を抜き、ノートに出す。 5 解決の見通し（解決の見通しを立てよう） ・今までに学習したことと比べるが、聞いていない部分はなかったか考えよう。
応用	6 自力解決（自力解決をしよう） ノート ・「何ゆえ、なぜゆえ」で、自分の考えをノートにまとめる。 ・他の方法でも解けるか、解き方が考えを比較しよう。 7 考えの説明（自分の考えを説明しよう） ノート ・ペアワークで自分の考えを説明しよう。 ・ペアワークで、友達のを聞き、自分の考えと比べて、もう一度自分で考えよう。
	8 振り返り（よりよい考えを見つけよう） ノート ・クラスワークで、自分の考えを発表しよう。 ・クラスワークで、友達の考えをしっかりと聞こう。 ・自分の考えと友達の考えを比較しよう。 （友だちの考えと比べて、もう一度自分で考えよう。） ・自分の考えを説明して、もう一度自分で考えよう。
まとめ	9 まとめ（課題のまとめをしよう） ノート ・今日の学習内容についてのまとめを全体で確認し、ノートに書こう。
	10 活用問題、発展問題（練習問題をしよう） ノート ・活用問題、発展問題に取り組む。ノートに答えを書こう。
振り返り	11 振り返り（振り返りタイムに取り組みよう） ノート ・本時の学び（考えや学びのしたこと、もっと知りたいこと）をノートに書こう。 ・今日の学びを発表しよう。

加須小学校 算数 授業スタイル【スタンダード】	
目標	具体的な学習活動例（※児童の活動）
基礎	1 算数の確認 前時の振り返り ・これまでの学習を振り返る。・分かっていることを確認しよう。
	2 問題の把握（どんな問題か、誰かめよう） ・わかっていること、聞いていることをしっかりと確認しよう。 3 考えの予想（考えを予想しよう） ・考えを予想し、聞き手の反応も見る。 4 問題解決に必要な条件の整理（今日の課題またはめあてを書こう） ・本時の問題から条件を抜き、ノートに出す。 5 解決の見通し（解決の見通しを立てよう） ・今までに学習したことと比べるが、聞いていない部分はなかったか考えよう。
応用	6 自力解決（自力解決をしよう） ノート ・「何ゆえ、なぜゆえ」で、自分の考えをノートにまとめる。 ・他の方法でも解けるか、解き方が考えを比較しよう。 7 考えの説明（自分の考えを説明しよう） ノート ・ペアワークで自分の考えを説明しよう。 ・ペアワークで、友達のを聞き、自分の考えと比べて、もう一度自分で考えよう。
	8 振り返り（よりよい考えを見つけよう） ノート ・クラスワークで、自分の考えを発表しよう。 ・クラスワークで、友達の考えをしっかりと聞こう。 ・自分の考えと友達の考えを比較しよう。 （友だちの考えと比べて、もう一度自分で考えよう。） ・自分の考えを説明して、もう一度自分で考えよう。
まとめ	9 まとめ（課題のまとめをしよう） ノート ・今日の学習内容についてのまとめを全体で確認し、ノートに書こう。
	10 活用問題、発展問題（練習問題をしよう） ノート ・活用問題、発展問題に取り組む。ノートに答えを書こう。 ・友達と自分の考えを比べ、様々な考え方をしよう。
振り返り	11 振り返り（振り返りタイムに取り組みよう） タブレット ・本時の学び（考えや学びのしたこと、もっと知りたいこと）をノートに書こう。 ・今日の学びを発表しよう。

加須小学校 算数 授業スタイル【アドバンス】	
目標	具体的な学習活動例（※児童の活動）
基礎	1 算数の確認 前時の振り返り ・これまでの学習を振り返る。・分かっていることを確認しよう。 2 問題の把握（どんな問題か、誰かめよう） ・わかっていること、聞いていることをしっかりと確認しよう。 3 考えの予想（考えを予想しよう） ・考えを予想し、聞き手の反応も見る。 4 問題解決に必要な条件の整理（今日の課題またはめあてを書こう） ・本時の問題から条件を抜き、ノートに出す。 5 解決の見通し（解決の見通しを立てよう） ・今までに学習したことと比べるが、聞いていない部分はなかったか考えよう。
	6 自力解決（自力解決をしよう） ノート ・「何ゆえ、なぜゆえ」で、自分の考えをノートにまとめる。 ・他の方法でも解けるか、解き方が考えを比較しよう。 7 考えの説明（自分の考えを説明しよう） ノート ・ペアワークで自分の考えを説明しよう。 ・ペアワークで、友達のを聞き、自分の考えと比べて、もう一度自分で考えよう。
応用	8 振り返り（よりよい考えを見つけよう） ノート ・クラスワークで、自分の考えを発表しよう。 ・クラスワークで、友達の考えをしっかりと聞こう。 ・自分の考えと友達の考えを比較しよう。 （友だちの考えと比べて、もう一度自分で考えよう。） ・自分の考えを説明して、もう一度自分で考えよう。
	9 まとめ（課題のまとめをしよう） ノート ・今日の学習内容についてのまとめを全体で確認し、ノートに書こう。
まとめ	10 活用問題、発展問題（練習問題をしよう） ノート ・活用問題、発展問題に取り組む。ノートに答えを書こう。 ・友達と自分の考えを比べ、様々な考え方をしよう。
	11 振り返り（振り返りタイムに取り組みよう） タブレット ・本時の学び（考えや学びのしたこと、もっと知りたいこと）をフォームで回答しよう。 ・今日の学びを発表しよう。

「授業スタイル」「話し合いスタイル」「振り返りレベル」を習熟度別に作成した。  
見通しをもち、自分のペースで学習に取り組むことができる児童が増加した。  
自力解決ができるようになった児童や柔軟に友達の考えを取り入れられる児童が増加した。



クラスで話し合うこと  
によって  
『知識の定着』  
につながった。



ペアで話し合うこと  
によって  
『自力解決』  
につながった。



グループで話し合うこと  
によって  
『柔軟的な思考』  
につながった。

## 事例2 ICTを活用した複線型授業

○教科名 数学

○单元名 図形の調べ方・多角形の角

○身に付けたい力 課題解決能力

○一人一台端末を生かした個別最適な学びへの工夫

google classroom で班に1つの google Jamboard を配布。複線化で自力解決を進める。

教師は Jamboard の様子と実際の様子を踏まえ、ファシリテートした。

学年	中学校2年	単元・題材	図形の調べ方・多角形の角	ICT活用のポイント					
教科	数学	本時の目標	平行線や多角形の角についての性質を思いだし、それをもとにして角度の求め方を説明することができる<思考力、判断力、表現力等>	・課題提示から振り返りまで、フルデジタルの複線型授業に挑戦します。 ・グループのメンバーで共有されたGoogle Jamboardをワークシートに、生徒自身が個人で学習を深めるのが、協働的に学習するのを選択し、課題解決を目指します。					
単元の概要	<p>1 直線と角の学習 図形の性質を調べるとき、その図形をつくっている「線分の長さ」や「角の大きさ」に着目していく。</p> <p>2 平行線の性質と平行線になるための条件 同位角と錯角の用語を導入して、平行線の性質と平行線になるための条件を学ぶ。</p> <p>(本時) 3 三角形の内角の和、多角形の内角の和・外角の和 三角形の内角の和の証明を補助線を用いて確認する。また、内角の和を根拠としながら外角の和について考える。</p> <p>4 証明の必要性和意味 すでに正しいと認められていることから根拠として、仮定から結論を導く。</p> <p>5 論証の根拠となることからあることから証明するために、別のことがらを根拠として使う。</p> <p>6 合同条件と証明の進め方 三角形の合同条件を使って、角の二等分線の作図法が正しいことを証明する。</p>								
使用するアプリケーション等	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Classroom</li> <li>Google Jamboard</li> <li>Geo Gebra</li> </ul>								
本時の計画	<p>1 導入</p> <p>① 問題提示 学習問題 右の図形における<math>\angle X</math>の角度を求めよう  <ul style="list-style-type: none"> <li>へこみのある図形の角度を求めることを確認</li> <li>大型提示装置に投影して、全体共有する</li> </ul> </p> <p>② 学習課題・学習活動の確認 学習課題 いろいろな方法で<math>\angle X</math>の角度を求めよう  <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の進め方を確認する(※無関係を参照)</li> <li>GoogleClassroomで、班に1つのGoogle Jamboardを配布する</li> </ul> </p> <p>&lt;配布するGoogle Jamboardの構成&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>ボード1 本時の課題 活動の見直し</td> <td>ボード2 Aさんの ワークシート</td> <td>ボード3 Bさんの ワークシート</td> <td>ボード4 Cさんの ワークシート</td> <td>ボード4 Dさんの ワークシート</td> </tr> </table> <p>ヒントのリンク集 ※ ボード1、リンク集は教師が準備 ※ ボード2~4は、本時の問題場面(図形)を背景に設定</p> <p>2 展開 &lt;複線化(自力解決・共同学習・教員からの支援)&gt;</p> <p>① Google Jamboardを使って一人一人が角度を求めていく  <ul style="list-style-type: none"> <li>一人で求めていく中で、班のメンバーの解き方を確認しても良い</li> <li>他の人の解き方でわからないところがあれば聞いても良い</li> <li>必要に応じてヒントを確認しても良い</li> <li>教員のとこで質問しても良い</li> </ul> </p> <p>○教員は生徒の Google Jamboardの様子と実際の様子を踏まえ、個別にファシリテートする。          一例①: 自分の学び方が見つからない生徒に対し、参照するべきヒントや相手を紹介したり、教員とともに学習することを勧めたりする など          一例②: 納得のいく解法が見つかった生徒に対し、異なる解法を発見するよう促したり、友達に解法を説明するなどのアウトプットを促したりする など</p> <p>3 まとめ ① いくつかの求め方を全体で共有する ○共有する考えを事前に教員が把握しておき、大型提示装置に投影して全体に共有する  <ul style="list-style-type: none"> <li>平行線の同位角、錯角を利用する方法</li> <li>三角形の内角の和を利用する方法(内角と外角の関係も含む)</li> </ul> </p> <p>4 振り返り ① 自己評価カードを記入する</p>				ボード1 本時の課題 活動の見直し	ボード2 Aさんの ワークシート	ボード3 Bさんの ワークシート	ボード4 Cさんの ワークシート	ボード4 Dさんの ワークシート
ボード1 本時の課題 活動の見直し	ボード2 Aさんの ワークシート	ボード3 Bさんの ワークシート	ボード4 Cさんの ワークシート	ボード4 Dさんの ワークシート					
補足資料・説明	<p>&lt;生徒のワークシートとGoogle Jamboard&gt;</p> <p>※生徒が自身の特性を踏まえて学び方を選択できるよう、紙媒体も用意しておく。</p> <p>!!ヒント集の例!!</p> <p>※同位角・錯角、教科書の該当ページ補助線など</p> <p>!!生徒の学びの場!!</p>								

## 事例3 学びの保障、家庭学習の充実

○取組の工夫 google classroom を活用し、その日の授業の内容をタブレットを使い、家庭で振り返ることができるようにした。授業内容に関連した動画を紹介したり、学習にあたってのヒントをコメントしたりすることで、学習意欲を喚起した。また、欠席した児童生徒や不登校児童生徒の学びの保障にもつなげた。



毎時間の板書を各教科係が撮影し、Classroom にアップロードした。  
 →授業内容の見直しに使用した。  
 →家庭でノートのまとめ直しを行わせた。  
 →欠席生徒への対応として利用した。

授業で使用したプリントやノート(記入済みのもの)を掲載した。  
 →授業内容の見直しに使用した。